

Tina Allen

著者&指導者 | ティナ・アレン

- Children are our greatest gifts -

- 子どもたちは、私たちにとってかけがえのない宝です -

財団法人国際リドルキッズ協会 (Liddle Kidz® Foundation) の創設者であるティナ・アレンは、小児タッチセラピーの第一人者であり、国際的に認められている世界的権威です。また、米国のベストセラー “A Modern Day Guide to Massage for Children” (和訳版: 「子供のためのマッサージ」) の著者でもあります。

アレン氏はこれまで20年以上に渡り、米国メイヨークリニック、フィラデルフィア小児病院、東京都立小児総合医療センターをはじめとした世界各国の医療機関にて、多くのベビーマッサージ及び医療ケアが必要な子供達に向けた小児タッチセラピープログラムを開発してきました。子供達のケアにあたる様々な分野の専門的なプロフェッショナルを募り、多くの研究成果をもとにタッチセラピー指導を行ってきました。アレン氏が伝える心のこもったケアは、施設サービスの満足度を高め、より良い治療環境作りに貢献し続けています。

アレン氏は、医療ケアが必要な子ども達とその家族が抱える肉体的・精神的悩みに関する知見が深く、実際にそうした子ども達にタッチセラピーを施してきたことで、その献身的、情熱的活動に対して様々な賞が送られています。また主要な国際会議等でも講演者として招待され、講演を行っています。

タッチセラピーを必要な人々に届けるべく、アレン氏は夫と息子とともに、365日毎日旅をしています。アメリカ国内ではバスに居住しながら日々全米中を駆け巡り、その行動力、情熱、技術が国内外の母親や専門家達から賞賛されています。

■受賞歴

2016 Governors Citation
2013 American Massage Therapy Association AMTA Distinguished Service Award
2012 Massage Therapy Foundation / Performance Health Humanitarian of the Year
2011 International Massage Therapist of the Year
2009 Massage Therapy Hall of Fame Inductee
California's Champion for Children
Richard Ryder Award

■小児タッチセラピープログラム開発

セント・ジュード小児研究病院
UCSFベニオフ小児病院
マテル小児病院
シダース・サイナイ医療センター
メイヨークリニック
フィラデルフィア小児病院
他多数

■国際的医療支援：グローバルアウトリーチプログラム

子どもの健康に対する革新的なアプローチにより、タッチを育むことの多くの利点について世界中の家族や医療専門家の指導を精力的に続けています。

国際リドルキッズ協会を通じて、アレン氏は定期的にプロの医療ボランティアのグループを結成し、毎年各地域に出向き、子どもとその介護者たちにグローバルな支援を提供しています。この「グローバルアウトリーチプログラム」は、必要な医療ケアが受けられない子どもたち、孤児たち、また子ども以外でも特別な医療ニーズを持っている方々に焦点を当てています。

■メディア出演

<テレビ>
NBC
TLC | The Learning Channel
KCET & PBS



LIDDLE KIDZ

国際リドルキッズ協会とは



国際リドルキッズ協会とは

国際リドルキッズ協会の目的は、愛情のこもったタッチを実践することができる家族や指導者を育成することにあります。タッチを学んだ家族や指導者たちは、強く愛情に満ちた繋がりを子どもたちと持つことができるようになるでしょう。当協会は、多くの方々にタッチと育児の専門的な事柄を習得して頂くため、学ぶ機会とサポートを提供し続けます。

当協会のトレーニングコースでは、医療介入を必要とする子ども達から、健康な子ども達まで、様々な子どもたちに対するタッチとマッサージの方法について指導しています。ベビーマッサージ指導者養成講座をはじめ、小児タッチセラピー指導者養成講座、健康な子ども達のためのタッチケア、自閉症を持った子ども達へのタッチセラピー、ガンにかかった子どもたちへのタッチセラピー、脳性まひの子どもたちへのタッチセラピー、NICU(新生児集中治療施設)の子どもたちのためにタッチセラピー、トラウマをもつ子どもたちへのタッチセラピー、そして、学校現場の子どもたちのためのタッチプログラムであるキッズインコンタクト指導者養成講座を行っています。

当協会では、毎年、世界中を旅して子どもたちと関わっています。その際、国際リドルキッズ協会の認定指導者たちが、ボランティアで、孤児院や医療施設、そして、子どもたちの家を訪ね、お世話をする人や介護者が小児ケアマッサージやタッチケアが行えるように指導をしています。今後は、タイ、ベトナム、カンボジア、ラオス、ハイチ、インド、トルコ、およびガーナへの訪問を計画しています。当協会の信念は、「子どもたちは最高の贈り物であり、最大限の注意をもって接する必要がある」ということです。

◆日本国内でのボランティア活動

国立成育医療研究センター、東大寺福祉療育病院、東京都立北療育医療センター、西宮すなご医療センター、聖フランシス子ども寮、白鷺養護学校（協力：NPO 法人トラッソ）、東京スポーツ文化館（協力：NPO 法人ゆめけん）、横浜市立藤が丘小学校、放課後デイサービスまめの木、すこやか保育園、綾瀬市立もみの木園、市川市立国府台小学校、世田谷区立松沢小学校、障害福祉センターひかり（順不同）

本テキストに含まれる情報は、いかなる場合も医師の診断に代わることを目的としていません。本テキストでは、保育者や指導者が子どもたちのためにできる愛情のこもったタッチの方法や小児マッサージ、タッチセラピーの提案をしています。著者は、医師の診断なしに行われる特別な施術や技術が、医学的なアドバイスや処方として定めることはできません。子どもの健康と安全を最優先するために、どのような計画であっても始める前に、医療従事者や専門家の意見を聞く必要があります。著者も、このテキストで紹介するテクニックの使用により生じた損害や怪我について、責任を負うことができません。





ABOUT CIMT®

ベビーマッサージ指導者とは

CIMT CERTIFICATION [12]
資格認定について



<資格認定について>

- 個人またはグループに対して、両親および赤ちゃんのお世話をする方にベビーマッサージを指導することができるようになります。
- 専門家の各種団体や両親、赤ちゃんのお世話をする方に対し、ベビーマッサージについての講義や発表などを行うことができるようになります。
- ベビーマッサージの指導者養成トレーニングを実施したり、指導者認定を与えたりすることはできません。
- 指導者向けのワークショップや継続教育を行うことはできません。
- 特別な医療介入を必要とする子どもに対して、ベビーマッサージを指導することはできません。
- 国家資格を有していない場合は、赤ちゃんに直接マッサージをすることはできません。

ベビーマッサージ指導者とは

認定を受けたベビーマッサージ指導者は、指導者であると同時に、赤ちゃんとお母さんやお父さん、赤ちゃんのお世話をする方にベビーマッサージという癒し、リラクセスの素晴らしさを伝える教育者でもあります。そして、ベビーマッサージを行うにあたっての知識や技術をお母さんやお父さんに伝え、グループレッスンやマンツーマンレッスンにおいてどのように赤ちゃんにマッサージを施すべきなのかを指導していきます。ここで気をつけて頂きたいことは、ベビーマッサージ指導者は赤ちゃんに直接マッサージは行うわけではないということです。指導者は本資格があるからといって、赤ちゃんに直接手を触れてマッサージを施すことはできません。他人の身体に触れ、マッサージをすることが法的に許されているのは、鍼灸師やマッサージ師など一定の勉強と経験を習得し、国家資格に合格した方のみだからです。もちろん、国家資格を有した方が、ベビーマッサージの知識と技術を習得されれば、赤ちゃんに触れることは法的に問題ありませんが、本講座を修了しても、皆さん自身は赤ちゃんに直接マッサージをすることはできませんのでご注意ください。私たちの目標は、赤ちゃんとお母さん、お父さんが愛情溢れる関係を築くために、マッサージを効果的に利用して頂くよう導くことです。マッサージのやり方を教えるときには、人形を使うことでお手本を見せましょう。

【国際リドルキッズ協会認定ベビーマッサージ指導者の心得】

●常に学び、成長すること
本講座に参加し、ベビーマッサージ指導者になるということは、包括的なトレーニングプログラムに参加し、これから先に広がる素晴らしい旅への一歩を踏み出すこととなります。本講座を修了したからといって、勉強は終わりではなく、むしろ、指導をしていく過程で、様々な家族や子どもたちと出会い、学び、成長していくことでしょう。ベビーマッサージのクラスでは、赤ちゃんの予想外のハプニングにより、計画どおりにクラスが進まないことがよくあります。どうすればうまくクラスをまとめられるのか、また、どうすれば知識を深めて成長することができるのかといったこと

は、指導の経験を積みながら学んでいく必要があるのです。

●自分の意識を常に高めていること
指導者自身が“感じる”ことに注意を払い、その感情を生徒さんにもわかるように表現することは、クラスを指導する上でも、お母さんたちとお話しをする上でも非常に大切なことです。クラスに参加するご家族や赤ちゃんには、心地よく、リラックスし、歓迎されていると感じてもらいたいものです。自分自身をよく知り、自分自身に注意を払うことができれば、他人にも注意を払うことができるようになります。

●創造性
自分らしいクラスを展開するためには、創造性が必要です。クラスで使う自分の教材を用意し、その教材をオリジナルなものに作りなおしていきましょう。教材では、自分の個性を出すことが大切です。また、指導に対する熱意も伝わるようにしましょう。指導者の熱意があれば、参加したお母さんお父さんは、子どもたちにベビーマッサージやタッチを続けたい！と思うでしょう。熱意は人から人へと伝わるものなのです。

●柔軟な対応
ベビーマッサージのクラスでは、柔軟に対応していく力が非常に大切です。予定通りにクラスを始めようとしても、赤ちゃんが眠ってしまったたり、お母さんが予定の時間に遅れてきたりすることはよくあることです。こうした状況に対応し、参加者全員に質の高いクラスを提供するためには、臨機応変な力が必要です。また、自分の住んでいる地域の状況に合わせて、クラスの開始時間などを調整していくことも大切でしょう。

●プロフェッショナリズム
プロらしく振る舞うと、周りの人はより熱心に耳を傾けてくれるものです。クラスの間は、自分の頭の中を整理し、自分自身をコントロールし、時間どおりにクラスを進めていく必要があります。指導者がプロらしく振る舞うことで、参加者は安心することができるでしょう。